

2010年4月1日～2023年12月31日までに札幌医科大学附属病院泌尿器科において副腎皮質腫瘍（クッシング症候群、サブクリニカルクッシング症候群）の診断を受け、手術を受けられた方へ

—「副腎皮質腫瘍に対する術後ステロイド補充療法に関する研究」へ
ご協力をお願い—

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 病院長 渡辺 敦

研究責任者 札幌医科大学附属病院 泌尿器科 准教授 田中 俊明

1.研究の概要

1) 研究の目的

札幌医科大学附属病院泌尿器科において、副腎皮質腫瘍（クッシング症候群、サブクリニカルクッシング症候群）の診断で、副腎摘除術を受けられた方の病気の状態、手術後のステロイド療法の内容などを調べて、手術後のステロイド療法がどのくらいの期間、どのくらいの薬の量でおこなわれたかを明らかにすることがこの研究の目的です。

2) 研究の意義・医学上の貢献

これまで札幌医科大学附属病院泌尿器科で副腎皮質腫瘍を受けられた方の、手術後のステロイド補充療法の結果を把握する事により、今後同じ治療を受けられる患者さんの治療方法、治療後の対応の参考にすることができます。

2.研究の方法

1) 研究対象者

2010年4月1日～2023年12月31日までに、札幌医科大学附属病院泌尿器科において副腎皮質腫瘍（クッシング症候群、サブクリニカルクッシング症候群）の診断で、副腎摘除術を受けられた方が研究対象者です。

2) 研究期間

病院長承認日～2025年5月30日

3) 予定症例数

研究の対象となるのは当院の患者さんで、34人を予定しています。

4) 研究方法

2010年4月1日～2023年12月31日までの間に当院において副腎皮質腫瘍（クッシング症候群、サブクリニカルクッシング症候群）の診断で、副腎摘除術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに患者さんの特徴、血液検査データ、画像検査データ、治療内容、治療期間、副作用のデータを選び、治療成績に関する分析をおこないます。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴
- ・ 診察所見、画像検査データ、血液検査データ、治療内容、処方、副作用などの状態

情報の利用開始予定日は2025年1月1日です。

6)情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、札幌医科大学泌尿器科講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7)情報の管理について責任を有する者

札幌医科大学附属病院 病院長 渡辺 敦

8)研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9)研究組織

研究機関名および研究責任者

札幌医科大学附属病院 泌尿器科 准教授 田中 俊明

10) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が 研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2024 年 11 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

上記期間終了後、集められたデータは、あなたを特定できる情報と照合ができな

い状態として、研究に使用します。つまり、誰のデータであるか特定できない状態となります。このため、ご連絡頂いた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎた場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学 医学部 泌尿器科学講座

氏名:田中^{たなか} 俊明^{としあき}

電話:

平日(9:00~17:00) 011-611-2111 内線 34720(札幌医科大学泌尿器科学教室)

夜間・休日 011-611-2111 内線 34720(札幌医科大学泌尿器科学教室)

内線 39260 (8階西病棟)

ファックス: 011-612-2709

電子メールアドレス: uroikai@sapmed.ac.jp